

○事業所名	所沢市こども支援センター（発達支援）		
○保護者評価実施期間	令和6年 8月 15日		令和6年 9月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	76人	(回答者数) 73人
○従業者評価実施期間	令和6年 8月 7日		令和6年 8月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	31人	(回答者数) 29人
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 11月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	清潔で、お子さまにとって過ごしやすく分かりやすい環境	毎日定期的な時間に建物の掃除が入るほか、壁や床などが汚れてしまった場合にはすぐにふき取るなど、元に戻すよう注意を払っています。 また、お子様にとって分かりやすいよう、各部屋の棚やお道具箱などを統一し、自分の荷物を入れたり、使用する文房具がどこにあるのか気が付くように工夫をしています。	少しずつ傷や劣化がみられている部分もあるため、事故や怪我のないよう職員同士で連携を図り、早めの修理や修繕を心がけるように努めてまいります。
2	お子様が安心感をもって楽しく通うことができる内容	まずは環境や職員に慣れて、楽しく療育に通うことを目標にしています。療育に慣れて課題に取り組むようになってからも、スモールステップで、お子様のその日の様子に合わせた課題の負荷調整を行い、少しでも「できた」という達成感を感じてもらえるように内容を工夫して行っています。	引き続き、安心感を持って楽しく通うことができる療育を行っていくとともに、専門性を高め、療育内容のさらなる充実をはかっていきます。
3	保護者支援	療育終了10分前に、ご家族の方とお話する時間を設け、その日の様子や最近の家や園での出来事を共有し、困っていることのご相談に対して助言させていただいたり、出来るようになったことを共有する等、こまやかなコミュニケーションを大切にし、傾聴を心がけています。 また、定期的に面談を実施しゆっくりお話を伺う機会を作ったり、学習交流会で保護者の理解を深めてもらうなども行っています。	保護者の方がより子育てに対して前向きになることができるよう、不安や心配ごとに対して丁寧にお話をうかがうとともに、保護者交流の場を増やしていくことも検討しています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時の対応に関する周知	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアルなど、職員へ周知徹底、訓練の実施をおこなっていますが、保護者の方への周知方法や掲示の仕方を工夫する必要があると感じます。避難訓練については、実施時期が11月頃のため、今年度から新規利用の方については実施後周知がなされていくと思われます。	非常時の対応や訓練等の計画について、分かりやすい保護者向けの資料を作成し配布や掲示をして参ります。
2	きょうだい児への支援	きょうだい児に向けた交流の機会などは設けていません。	保護者交流とともに、きょうだい児に向けた交流やイベントの実施などを検討して参ります。
3	通信やホームページ、SNSなどを使った情報の発信	行事や、保護者の交流会等のご案内は今年度いっぱいは今まで通り紙で配布しています。	今年夏から、一斉メールアプリを使用して情報を発信しており、今後は周知の書類をアプリで配信する等検討してまいります。